



国際ロータリー 第2510地区 日本

The Rotary Club of Otaru South. District No.2510

小樽南ロータリークラブ会報



Club Homepage URL <http://rid2510.org/otarusouth/>

●例会場/ニュー三幸 ●例会日/毎週金曜日12時30分 ●事務局/〒047-0032 小樽市稲穂1-3-6 ☎0134-33-3500

●本日 4月22日(土)のプログラム

◎第6グループIM
於いて:ホテル第一会館(倶知安RC)

●来週 4月28日(金)のプログラム

◎「歴文研の活動」スピーカー:石井伸和氏
(石井印刷(株) 代表取締役・小樽RC)

●再来週 5月5日(金)のプログラム

◎休会

2016-17年度 地区目標

- 地域と共に活動
- 地域組織の活性化
- 地域と共に

●2015-2016年度 IRテーマ



Rotary
Serving
Humanity
人類に
奉仕する
ロータリー
2016-17年度IR会長 ジョン・ジャーム

上野年度信条

脚下照顧
きやつかしようこ
足下を照らして顧り見る
(自分の足下を見る)

37

2017年4月22日発行
通巻 第2787号

1960年創立
昭和35年2月5日

●第36回例会報告 4月15日(日) 健康セミナー「小樽市立病院見学」

●司会/柴田副会長

■会長挨拶 ■ 上野会長

○本日は週末土曜日での「移動例会」のため、若干参加会員が少なめですが、小樽市民病院の見学を含めて貴重なご講話を楽しみにしております。

■幹事報告 ■ 三栖幹事

○4月22日(土) 小樽駅前 午前11時30分発ですので集合時間に注意して下さい。

- ■**メーカー受付**■ 4月14日(金)分
- 下中 博文氏、宮本 孝雄氏、久末 智章氏、
- 柴田 憲彦氏、平松 正人氏(小樽RC)
- ■**メーカー受付**■ 4月21日(金)分
- 久末 智章氏、西條 文雪氏、下中 博文氏、
- 平松 正人氏、江川 栄一氏、柴田 憲彦氏、
- 宮本 孝雄氏、堀岡 秀之氏(小樽RC)

●●●●● 院内見学 ●●●●●

■ヘリポート



■地下免震構造見学



■地下免震構造見学



■地下免震構造見学



演題 当院の病院給食のご紹介「病院給食について」

渡辺 恵子様【小樽市立病院医療技術部 主幹(栄養管理担当)】



病院給食

- 食事の種類
 - 治療食・・・糖尿病食、腎臓病食、肝臓病食、高血圧食、消化器病食など
 - 一般食・・・治療食以外、季節別など
- 主食の選択
 - パン、麺類、おにぎり、
- 選択メニュー（週1回）

給食調理施設の概要

- 地下1階
- 給食準備室、従業員専用トイレ、更衣休憩室、検収室（納品）、サニタリー室（手洗い）、下処理室、調理室、特食コープ・2力帯、配膳プール、専用エレベーター、下洗室、洗浄室、ゴミ室、備置庫、
- ドライシステム（R）
- 電化調理システム
- 空調設備管理
 - 調理室 調理室25℃ 洗浄室19℃ 湿度43%



最初に給食調理施設の概要についてご説明させていただきましたが、場所は地下1階の一角に位置しています。部屋が多く分かれているのは、衛生管理に配慮しているためです。清潔区域、準清潔区域、汚染区域、大きく3つに分けて考えています。それぞれの場所を区切って、作業も分けています。部屋から部屋への移動時や作業の区切りごとに手洗いをし、履き物やエプロンを替えるということで衛生に配慮しています。また空調も集中管理されているため、調理をしても部屋が暑くなりすぎることなく、働く人たちに快適な環境になっています。



よく知られているように日本は長寿大国ですが、2014年の平均寿命は男性が80.2歳、女性が86.6歳です。男性は世界第3位、女性は第1位です。しかし、平均寿命と別に健康寿命と呼ばれる数字があります。2013年（3年ごとに調査されているようですが）男性は71.9歳、女性は74.2歳、男女ともほぼ10年間は誰かの支援や介護を受けながら生きていくことになっているということを示しています。



演題 小樽市立病院の概要について

柴田 隆一様【小樽市立病院地域医療連携室 主幹】



基本理念

小樽市立病院は、市民に信頼される高い社会的価値を持つ地域医療機関を目指します。

【3つの柱】

- がん診療
- 脳・神経疾患診療 ●心・血管疾患診療

【2つの特性】

- 他の医療機関で抱えない疾患の診療
- 地域医療連携における中心的な役割

【質の高い医療の実践】

- 4つの専門センターの設置



- ### 基本方針
1. 患者の人権を尊重し、患者中心の医療を行います。
 2. 病院の運営は急性期医療を主体とし、救急・災害医療の充実に努めます。
 3. 質の高い医療を実現するため、患者サービスの充実、医療安全の確保、チーム医療の推進および人材の育成に努めます。
 4. 地域の医療機関や保健・福祉分野との連携を進め、地域医療を支えます。
 5. 健全で自立した病院経営に努めます。



- 病床数 388床
 - 一般302床(ICU6床、SCU6床含む)
 - 精神80床、結核4床、感染2床
- 診療科目 26診療科
 - 内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、腫瘍内科、内分泌内科、腎臓内科、神経内科、外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、精神科、リウマチ科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、麻酔科
- 専門センター
 - 消化器病センター、心臓血管センター、脳卒中センター、認知症疾患センター



地域住民のための取組

- 2F研修
 - 若い医師を研修センターで育てる体制を整え、研修生30名を1日10名程度受け入れ、研修生が研修中に研修医の指導を受けながら研修を行います。
- 病院まつりの開催
 - 地域の皆さまとふれあいを促進し、感謝の気持ちを込めて開催しています。
- 市民公開講座
 - 感染症対策講座
 - 緊急災害時の対応